

# J F M A コンピュータ活用研究部会 勉強会レポート

於: エイネット株式会社本社(秋葉原) 日時: 2009年4月17日(金曜日) 17:00~18:00

## デスクトップ会議システムについて エイネット社 Fresh Voice の見学

講師 エイネット(株) 代表取締役 西畑 博功様

聴講者 天神良久、秋山克己、木村圭介、森本卓雄、山岸順二、伊藤秀憲、小木曾清則

<敬称略> 鶴町和子、久野誠、野間操

(記録)木村圭介

### 1. デスクトップ会議システムとは、

離れた場所にある複数のパソコンを電話回線(ISDN)や LAN, インターネットなどを使って接続し、動画、音声、アプリケーション、ホワイトボードなどのデータをリアルタイムにやり取りするシステム。パソコン会議システムとも呼ぶ。通常は、パソコンにテレビ・カメラやマイクを付加して利用する。ビデオ会議機能は ITU-T 勧告 H.32x で、データ会議機能は ITU-T 勧告 T.120 として標準化されている。

米ポリコムの「ViaVideo」や米マイクロソフトの「NetMeeting」などが有名。最近ではインスタント・メッセージ・ソフトでも同様の機能を持つ製品が増えた。

(日経 BP ITProより)

今回の勉強会はエイネット社のデスクトップ会議システム「FRESH VOICE」の見学を通じて、FM業務におけるデスクトップ会議の必要性、有効性などを検討します。

### 2. FRESH VOICE の特徴

エイネット社のデスクトップ会議システム「FRESH VOICE」は、国内シェアNo.1 のデスクトップ会議システムとして、多くの企業でご利用いただいています。

主な特徴としては、

- ・音声の遅延が少ない
- ・NAT、ファイアーウォールを越える
- ・暗号化通信
- ・豊富な機能、管理者操作も簡単などが挙げられます。

高品質なテレビ会議を	安心して導入できる	手ごろな価格
◎音声遅延を感じさせない 遅延を感じさせないクリアな音質を実現しました。	◎管理者不要 サーバ管理者不在でも運用できるシステムにいたしました。	◎抜群の コストパフォーマンス 全て自社開発した「Made in JAPAN」の製品です。だから高品質の会議システムを低価格でご提供できるのです。
◎環境を選びません NATを越え、ファイアーウォール越え。暗号化を標準装備。	◎万全の保守体制 リモート保守体制が出来ています。オプションでオンサイト保守も可能です。	
◎豊富な機能 資料共有やプレゼンテーション機能など、本当に使える機能を提供します。	◎トータルサポート ファイアーウォール、VPNネットワークの構築サポートが出来ます。	

### 3. FRESH VOICE の画面構成

FRESH VOICE の画面レイアウトは下記のようになっています。  
画面を集約することで、簡単に会議に参加しやすくなっています。

## Fresh Voice V5 画面レイアウト

パソコン操作が苦手な方にもご利用いただけるように画面レイアウトを工夫しています。  
1画面に機能を集約した画面レイアウトで、どなたでも簡単にテレビ会議に参加できます。

発言者の映像は常に画面左上に表示されています。最大化も可能です。

資料共有時には画面右側が資料画面に切り替わります。

The image shows the Fresh Voice V5 interface. On the right, a grid of video thumbnails shows participants. The top-left thumbnail is enlarged, showing a man speaking. A red circle highlights this thumbnail with the text '発言者の映像は常に画面左上に表示されています。' and '最大化も可能です。'. Below the grid, a shared document is visible, titled '国内のテレビ会議システム市場予測'. A red circle highlights the document area with the text '資料共有時には画面右側が資料画面に切り替わります。'. The interface includes a 'FRESH VOICE' logo, a search bar, and various control buttons at the bottom.

### 4. FRESH VOICE の主な機能

#### 遅延を感じさせない音声

なんと言っても重要なのは「音声」です。「Fresh Voice V5」はその「音声」を重視しています。遅延を感じさせなく、長時間話していても疲れないクリアな音声です。

#### 発言モードの選択が可能

発言権を取って発言する「通常」モードと、自由に発言できる「ミキシング」モードを選ぶことができます。会議の内容にあったモードでご利用ください。。

#### ドキュメント共有機能

全員で資料を見ながら会議ができますイメージで共有するので相手にそのアプリケーションがなくてもOK。

#### デスクトップ共有機能

参加者全員で、ある拠点のPC操作を行うことができます。自分のデスクトップを公開し、他の会議参加者に関覧やリモート操作をさせることができます。CADやエクセル等のファイルをリアルタイムに修正・確認を行うことが可能です。

#### チャット機能

文字チャットのやり取りができます。文字ベースの方が確実に相手に伝えられるというようなシーンで活躍します。

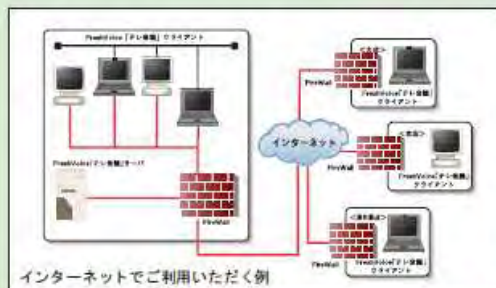
#### ファイル転送機能

ファイルの種類や容量にかかわらず、通話相手に一斉配信ができます。急に必要になった会議資料や、会議中に修正したファイルを配信するのにたいへん便利です。

## 5. FRESH VOICE のファイアーウォール通過機能

4にて触れられていない重要な機能がファイアーウォール通過機能です。この機能により、会社対会社や会社対自宅などでの利用がしやすくなります。

ファイアーウォール通過機能を標準搭載している「Fresh Voice V5」では、インターネット回線を利用した遠隔地との接続もファイアーウォールを越えてしかも安全に行えます。

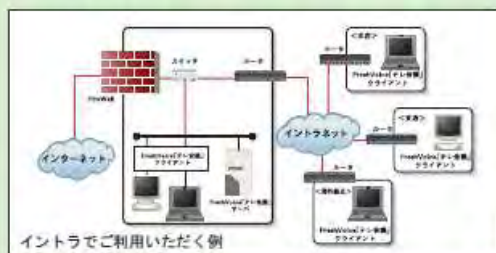


インターネットでご利用いただく例

圧縮・暗号化をかけた通信パケットを、2つのポートHTTP (80)、SSL (443) を使用して送信します。企業のファイアーウォールに、「内側から出られる2つのポート」さえあれば、ご利用になることが可能です。

※「SSL (443)」以外の任意のポートに変更することも可能です。

※インターネット環境でご利用いただく場合、サーバには固定のグローバルIPが必要となります。



イントラでご利用いただく例

## 6. FRESH VOICE に関する質疑応答

Q. FMや建設関連での導入事例はありますか？

A. 大手ゼネコンにて朝礼などで利用しています。

Q. 大画面ディスプレイでもとてもきれいに表示されていますが、解像度はどのくらいでしょうか。

A. ただ今のテレビ会議ではVGA (640 × 480ピクセル)の解像度で行っています。

Q. テレビ会議に必要なカメラやマイク、スピーカーは指定の製品がありますか。

A. エルモ、ロジクールなど、市販の製品を利用することができます。

## 7. FMの視点からみたデスクトップ会議システムがもたらす効果についての考察

### (1) 期待される効果

#### ・オフィスコストの削減と生産性向上

全国各地にある支店、事業所のスタッフとの打ち合わせのために発生する出張経費をデスクトップ会議によって大幅に削減することが期待できる。また、移動時間短縮により本業に専念する時間が増え、結果として生産性向上となる。

#### ・BCP

オフィスでインフルエンザなどが蔓延すると、出社したスタッフが感染し結果として業務継続性に支障が出る。デスクトップ会議によって、遠隔会議をすることにより感染を防ぎ業務継続性をより向上することができる。

#### ・ワークスタイル、ワークプレイスの変革

デスクトップ会議の普及により在宅勤務(テレワーキング)がしやすくなると考えられる。ワークスタイルの変化によってオフィスでの働き方やワークプレイスが見直され、魅力ある施設作りが促進されるものと期待できる。

#### ・地球環境保全

デスクトップ会議による出張の減少や在宅勤務の増加、ペーパーレス化は結果として、CO2削減(地球環境保全)にも貢献する。

### (2) 今後の課題

#### ・通信環境の向上

本店、支店、事業所などの企業における拠点をつなぐ通信環境がより向上することにより、デスクトップ会議時の通話、映像の遅延が少なくなる。NGNなどの普及に期待したい。

#### ・ハードウェアの整備

デスクトップ会議を行うためのハードウェアとしては、PC、CCDカメラ、マイク、スピーカなどがあるが、それらの性能向上、普及促進も必要となる。

#### ・ユーザー環境の整備

デスクトップ会議時に隣のワーカーに迷惑がかからないよう、個別ブースなどを用意するなど、ユーザー環境の整備も重要である。また、在宅勤務にてデスクトップ会議を行う場合、自宅に作業する場所を確保する必要がある。

#### ・ファイアウォール越えが可能なシステムの普及

会社と自宅での通信を行う場合に重要なのが、ファイアウォール越えの可否である。セキュリティを確保しつつ快適に行うためには利用者のリテラシー教育も重要である。